

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	悪性胸膜中皮腫に対するアブレーション治療の有効性に関する研究 [倫理審査受付番号：第 5165 号]
研究責任者氏名	児玉 大志
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2025 年 11 月 28 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名： 胸膜中皮腫 / 診療科名等： 放射線科
	受診日：西暦 2016 年 6 月 1 日～ 2025 年 8 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	☐ 試料等 ☒ カルテ情報 ☐ アンケート ☐ その他（ ）
	取得の方法： ☒ 診療の過程で取得 ☐ その他（ ）
研究目的・意義	胸膜中皮腫に対する治療は手術、放射線治療、薬物療法を組み合わせる事が多いですが、身体への負担が高く、完遂できない患者様も少なくありません。また、治療を完遂したとしても再発してしまう患者様も多いです。兵庫医科大学病院放射線科では術後再発病変に対して積極的にアブレーション治療、特にラジオ波凝固療法を多く行ってきましたが、この治療の有用性に関する報告はまだありません。従いまして、本研究では通常診療のカルテ情報から、胸膜中皮腫再発病変に対するアブレーション治療（ラジオ波凝固療法や凍結療法）の有用性を後ろ向きに検討したいと考えています。
研究の方法	2016 年 6 月 1 日～2025 年 7 月 31 日までの間に、兵庫医科大学病院放射線科において CT ガイド下アブレーション治療（経皮的ラジオ波凝固療法および凍結療法）を施行した全ての患者様を対象とします。治療成績、合併症の有無、年齢、性別、肺気腫の有無、腫瘍径、病変の局在、ラジオ波凝固療法以外に追加された治療の内容、臨床床病期、組織所見等のデータを通常診療の電子カルテより収集致します。これらのデータを解析し、アブレーション治療、特にラジオ波凝固療法が胸膜中皮腫の治療として有用であるかどうかを検討いたします。データを取得する期間は 2016 年 6 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日

	とします。
個人情報の 取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する 連絡先	診療科名等：放射線科 担当者氏名：児玉 大志 [電話] （平日 9～18 時） 0798－45－6362 （上記時間以外） 0798－45－6111